



# 県立図書館1月の新着図書紹介

(児童資料班編)

岡山県立図書館 2013. 1. 10 発行

## 『さかささんぼの日』

ルース・クラウド／作 マーク・シーモント／絵 偕成社／発行 2012年 請求記号 E/サイ 資料番号 資料番号0011251584

### 【内容】

ある朝、男の子は今日1日を『さかささんぼの日』にしようと決めました。そこで、男の子はパジャマを脱いで、いつもとはさかさまの順番で服を着ました。コートの上から上着、その上にシャツ、それから下着を着ると、ごわごわでへんてこなかつこうになりました。階段を下りるのも、もちろん上る向きになって降ります。おとうさんやおかあさんや妹への朝のあいさつも「おやすみ！」です。みんなはちょっとびっくりした顔をしながらも、「おやすみ」と返事をします。そして、朝ごはんです。椅子をうるむきにして座り、背中にナプキンをつけました。ところが、『さかささんぼの日』なので男の子は、おなかがすいているにもかかわらず、「おなかいっぱい」と言ってしまうのです…。

家族がまじめな顔をして、男の子の決めたルールに付き合っているようですが、笑いを誘います。表紙の変な服装の男の子が次になにを思いつくのかと、ページをめくるときにわくわくします。

## 『リスと青い空からのおきゃくさん』

ゼバスティアン・メッシュンモーザー／作 松永 美穂／訳 コンセル／発行 2012年 請求記号 E/ツ 資料番号 0011261559

### 【内容】

ある朝、クマが目をさますと頭の上に青い鳥がとまっていました。クマは青い鳥の姿を今まで見たことがなかったので、気味悪がって逃げ出します。しかし、青い鳥はずっとクマの後をついてきます。困り果てたクマはリスに相談するのですが、リスもまた青い鳥の姿を見たことがなかったので、青い鳥を宇宙人だと勘違いしてしまいます。クマをどこか別の星に連れて行ってしまおうのではないかと思ひ、森のなかまたちと協力しながらいろいろと作戦を考えます。そこには思わず微笑むようなユーモアあふれる描写があります。本作はリスと森のなかまたちシリーズの第4作目で、他の作品もおすすめです。ぜひご覧ください。

## 『人里に現れるクマ』

三浦慎悟／監修 金の星社／発行 2012年 請求記号 C654/ミウ 資料番号 0011261625

### 【内容】

「人里にクマが現れ、人がおそわれてケガをした」そんなニュースを聞いたことはありませんか。最近クマの出没が増え、その被害は人に危害をあたえるだけではなく、農作物を食べたり、樹木の皮をはいたり、とても深刻な問題になっています。この本では、まずクマはどんな動物なのか、そしてどうして人里に現れるようになったのかを写真や絵をまじえてわかりやすく説明しています。また、クマから身を守る方法も紹介していますが、それはクマを悪者にしないために人と共存するための知恵でもあります。

人間社会の大きな変化にともなって野生動物たちに異変がおきている現在、その事とどう向き合うべきか、そして私たちに何ができるのか、退治するだけではなく、共存する方法を考えるうえでとても役に立つ一冊です。

## 『夜の学校』

田村理江／作 佐竹美穂／絵 文研出版／発行 2012年 請求記号 C913/ヲム 資料番号 0011569027

### 【内容】

連日の塾通い、口うるさいお母さんと関心を持ってくれないお父さん、学校での自分自身、日頃から様々なことにイライラを募らせていた蘭は、今日ついにいつものバス停を通り過ぎて塾をサボってしまいます。行き着いた先は、幼いころ遊んだことがある公園とその先に立つ見慣れない灯台。その灯台を入り口にして、蘭はすべてがあべこべになった世界に迷い込みます。そこでは学校が夜に始まるなど昼夜が逆転していました。さらに、教室では蘭がいじめていたクラスメイトと立場が入れ替わっていたのです。蘭はこの夜の学校で初めて相手の立場に立つことになりませんが、彼女の視点を通して、立場が違えばものの見え方や感じ方も違うのだと気づかされます。

## 『グリム童話集200歳 日本昔話との比較』

小澤俊夫／著 小澤昔ばなし研究所／発行 2012年 請求記号940.268/オサ12 資料番号0011533213

### 【内容】

グリム兄弟が近所の娘から聞き書きした昔話を中心に86篇をまとめて「子どもと家庭のメルヘン集」いわゆる「グリム童話集」初版第1巻を出版して200年が経ちます。その後、童話集は改訂が続けられ、グリム兄弟自身の手で第7版まで出版されました。本書の前半ではグリム兄弟が童話集を作るまでの過程が書かれ、後半では、日本昔話との比較・考察が行われています。グリム童話と日本昔話は全く違う世界のものに思えますが、実に類似点が多くあることに驚かされます。そして、それぞれの話の本文を多く掲載し、比較してあるので、読み手にもはっきりと類似点が理解できるとともに、物語自体も楽しむことができます。また、グリム童話と日本昔話それぞれに登場してくる動物にスポットを当てた考察は大変興味深いものがあります。世界をまたいで広がった昔話の不思議をぜひお楽しみください。

★ 貸出は15日以内10冊までです。

今月のテーマ展示は『へび によろよろ』(1/4～1/20)です。

お問い合わせ先:岡山県立図書館 1階 児童資料班 086-224-1286  
ホームページ: <http://www.libnet.pref.okayama.jp/> (蔵書検索もできます)

※ リストは12月に受け入れた本の一部です。

書名	著者	出版者	資料番号
びっくり!!トリックアート9		汐文社	2012.11
リンカン大統領	メアリー・ポープ・オズボーン／著	メディアファクトリー	2012.11
妖怪の日本地図2 関東	千葉 幹夫／文	大月書店	2012.11
動物に心はあるだろうか?	松島 俊也／[著]	朝日学生新聞社	2012.11
ひとりでできるよ!図鑑	横山 洋子／監修	学研教育出版	2012.12
明日もいっしょにおきようね	穴澤 賢／文	草思社	2012.4
なでしこ物語	波野 りさ／作	角川書店	2012.6
みんなに知らせる	宮川 健郎／作	玉川大学出版部	2012.11
清少納言	朧谷 寿／監修	ミネルヴァ書房	2012.11
ドラゴンのなみだ	佐々木 ひとみ／作	学研教育出版	2012.11
有松の庄九郎	中川 なをみ／作	新日本出版社	2012.11
船で空飛ぶ妖怪クルーズ	三田村 信行／作	あかね書房	2012.11
大統領の秘密	メアリー・ポープ・オズボーン／著	メディアファクトリー	2012.11
ヘリオット先生と動物たちの8つの物語	ジェイムズ・ヘリオット／作	集英社	2012.11
ニルスが出会った物語2 風の魔女カイサ	セルマ・ラーゲルレーヴ／原作	福音館書店	2012.6
北のジャングルで	フセーヴォロド P.シソーエフ／著	未知谷	2012.6
あたしゆきおんな	富安 陽子／文	童心社	2012.11
どっかんだいこん	いわさ ゆうこ／さく	童心社	2012.11
もうすぐもうすぐ	岡田 千晶／著	教育画劇	2012.11
ふゆってどんなところなの?	工藤 ノリコ／作・絵	学研教育出版	2012.12
まいごのワンちゃんあずかっています	アダム・ストーワー／作	小学館	2012.11
たのしい麒麟のかいかた	たがわ ひでき／え	学研教育出版	2012.12
ゆめたまご	たかの もも／作・絵	フレーベル館	2012.11
リッキのたんじょうび	ヒド・ファン・ヘネヒテン／さく・え	フレーベル館	2012.11
きかんしゃがとおるよ	ゴールデン・マクドナルド／さく	長崎出版	2012.11